

作者について



宮沢賢治（みやざわ けんじ 一八九六—一九三三）

宮沢賢治さんは、大正時代から昭和時代の詩人、童話作家です。また、教師、農村指導者としても活動しました。岩手県に生まれ、岩手の自然をこよなく愛しました。

中学時代から短歌や詩を作りはじめ、その後、たくさん童話を書きました。病気のため、三十七さいのわかさでなくなりました。

他の作品



他の作品には、『注文の多い料理店』、『風の又三郎』、『銀河鉄道の夜』などの物語があります。また、「雨ニモマケズ」などの詩も書いています。

宮沢さんは、自分の童話を「イーハトーブ童話」とよんでいます。「イーハトーブ」とは、宮沢さんのつくった言葉で、童話のぶたいとなる地名です。「岩手」を意味し、心の中に思っていたドリームランド、夢の国です。